

シンポジウム

Meeting アラスミ! 連続講座

「新しい文化政策」 を考える

— アラスミ・アーツカウンシルの構築に向けて —

● ゲストコメンテーター

小林真理

東京大学大学院人文社会系研究科
文化資源学専攻教授

吉本光宏

ニッセイ基礎研究所 研究理事
芸術文化プロジェクト室長

● モデレーター

熊倉純子

東京藝術大学大学院
国際芸術創造研究科教授

森隆一郎

東京藝術大学大学院
国際芸術創造研究科特任助教

● 日時

2022年2月19日(土) 15:00-18:00

● 場所

zoomウェビナーにて配信

● 定員

100名 ※視聴無料、要事前申込

申込方法

応募締切

下記フォームから 2022年
お申し込みください。 2月17日(木)

<https://bit.ly/3JQFmh2>



※内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



「新しい文化政策」を考える

ーアラスミ・アーツカウンシルの構築に向けてー

すみだ川界隈の地域において、「地域の文化芸術を推進するプラットフォーム」、「地域の連携・協働を推進するプラットフォームの形成」に着目し、先進的な事例に取り組む自治体・団体と協力して学びと実践の場を提供する人材育成プロジェクト「Meeting アラスミ！ (=around すみだ川)」の成果を振り返るシンポジウムを開催します。

本シンポジウムは、Meeting アラスミ!理論編の3回の連続講座「『新しい文化政策』を考えるーアラスミ・アーツカウンシルの構築に向けてー」に加え、足立区、墨田区、台東区とともに広域連携を実践してきた2つの活動「アトリエ・ムジタンツ」、「野村誠「千住の1010人 from 2020年」」からの報告をふまえ、多様な組織と人々が出会い、交流し、意見を交わしながら創造する「新しい文化政策」を実現するプラットフォームの姿を考えます。また、学生たちがプロトタイプとして提案する「アラスミ・アーツカウンシル」のアイデアをもとにゲストと議論し、すみだ川界隈の地域における文化活動支援の可能性を考えます。

● ゲストコメンテーター



小林真理

東京大学大学院人文社会系研究科
文化資源学専攻教授

専門は、文化政策学、文化経営学、文化資源学。文化政策の企画立案、文化行政制度の研究を行う。早稲田大学大学院政治学専攻博士課程を満期退学。早稲田大学助手、昭和音楽大学助手、静岡

文化芸術大学講師を経て、2004年に東京大学に着任、現在に至る。博士(人間科学)。さまざまな地方自治体で文化行政制度の運営や制度設計に関わる。単著に『文化権の確立に向けてー文化振興法の国際比較と日本の現実』他。



吉本光宏

ニッセイ基礎研究所 研究理事
芸術文化プロジェクト室長

1958年徳島県生まれ。早稲田大学大学院修了後、社会工学研究所などを経て1989年から現職。東京オペラシティ、国立新美術館、いわきアリオス等の文化施設開発、東京国際フォーラムや電通新社屋の

アート計画などのコンサルタントとして活躍する他、文化政策、文化施設の運営・評価、創造都市、オリンピック文化プログラム等の調査研究に取り組む。文化審議会委員、東京2020組織委員会文化・教育委員、東京芸術文化評議会評議員、企業メセナ協議会理事、東京芸術大学非常勤講師などを歴任。

● モデレーター



熊倉純子

東京藝術大学大学院
国際芸術創造研究科教授

パリ第十大学卒、慶應義塾大学大学院修了。企業メセナ協議会を経て、東京藝術大学教授。アートマネジメントの専門人材を育成し、「取手アートプロジェクト」、「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」

など、地域型アートプロジェクトに携わりながらアートと市民社会の関係を模索し、文化政策を提案する。東京都芸術文化評議会文化都市政策部会委員、文化庁文化審議会文化政策部会委員などを歴任。監修書に『アートプロジェクトー芸術と共創する社会』他。



森隆一郎

東京藝術大学大学院
国際芸術創造研究科特任助教

ティアラこうとうやいわき芸術文化交流館アリオスで制作やマーケティングセクションを率いたのち、アーツカウンシル東京でPRディレクターを務める。現在は、芸術・文化事業の企画・制作・広報・リサーチ・

コンサルティングなどを手掛ける合同会社渚と代表。早朝の文化雑談会「トーキョーアーツのれん会」を隔週でオンライン開催中。共著に「文化からの復興ー市民と震災といわきアリオスと」(水曜社)。

● 2021年度の各プログラムの取組み



理論編 | 連続講座「新しい文化政策」を考えるーアラスミ・アーツカウンシルの構築に向けてー

連続講座では、ゲスト講師3名を招き、アーツカウンシルの歴史と実際、広域連携による文化事業の実践事例、大学が地域アーツカウンシルとして機能する事例からそれぞれ学びました。さまざまなバックグラウンドを持つオンライン受講生からの質問も取り上げ、アーツカウンシルを検討するための基礎知識を共有し、「広域連携による新しい文化政策」への解像度を上げました。また、学生によるグループワークを実施し、アラスミ・アーツカウンシルのプロトタイプを検討しました。



実践編① | アトリエ・ムジタンツ

「地域とアートをつなぐ」「分野を横断したアートプログラムをデザインする」をテーマに、足立区・墨田区・台東区の3区と連携しながら、アーティストとアートマネジメント人材の協働的な学びの場を提供しています。今年度は足立区内母子生活支援施設にて子ども向けプログラムを、墨田区の両国門天ホールにて大人向けプログラムを実施。多様な背景を持つ30名ほどの受講生が参加し、企画立案、プログラムデザイン、ファシリテーション等について実践的に学び合いました。



実践編② | 野村誠「千住の1010人 from 2020年」の広域連携

アートプロジェクト「アートアクセスあだち音まち千住の縁」のプログラムの一環として、1010人の演奏者による参加型コンサートに連動し、隅田川を中心とした演出の実現に向けて行政、市民と対話を進めてきました。2020年度に予定していた「千住の1010人 in 2020年」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当初のプログラムを方針転換し「千住の1010人 from 2020年」として再始動し、活動を続けています。1月には墨田区・隅田公園等でじゃれ音楽の魅力を気軽に体験できる「オープン・セッションDAY」を企画しました。

お問い合わせ

Meeting アラスミ！ 連続講座運営事務局

✉ arasumi.study@gmail.com

※個人情報は厳重に管理し、本事業の運営およびご案内にのみ使用します。

公式サイト

<https://arasumi.geidai.ac.jp/>



公式Facebook

<https://www.facebook.com/meetingarasumi>

